

奈良女子高等師範学校・奈良女子大学同窓会

佐保会兵庫県支部だより 第43号

佐保会兵庫県支部事務局 〒651-1133 神戸市北区鳴子2丁目19-6 永福方

題目 「雛遊び（ひいなあそび）」 吉田 扇



現在私は九十才ですが、奈良女高師に入学したのは昭和二十年の戦争中でした。男子は戦場へ、女子は勤労動員で工場へで、勉強が出来る様になったのは戦争が終わってからでした。奈良は東京より安全だからと、遠く北海道や沖縄や又中国からの留学生も来ていました。沖縄の方は家族全員を失い、私自身も学徒出陣で海軍に入隊した兄が戦死し、六月の神戸空襲で家は全焼し、八月に戦争が終わってからやっと勉強が出来るようになりました。亡き母の悲しみを思うと、平和な私の人生は何かと感謝して居ります。

田邊 富子（S24理I）

「佐保会とお雛様」

吉田 扇（S41家被）

昭和四十一年、奈良女子大学卒業式で、証書と共に、被服学科の記念品として小さな一刀彫の立雛を頂きました。折々に屏風やぼんぼりを買いたい求め、赤いフェルト布を毛氈代わりにして飾ってきました。男雛女雛は同柄衣裳のペアルックで、男雛の広げた袖の中に女雛がすっぽり納まり、あたかも一体の人形のように見えて、洗練された完成度の高い美しさに心を引き付けられます。この立雛のデザインの原点は何処にあるのでしょうか。

佐保会館には昭和初期に全国の佐保会員から寄贈された膨大な雛人形と郷土人形が保管されています。平成十三年刊の『社団法人佐保会所蔵の雛人形と郷土人形』には、七十年代には「曲水の宴」で、人形を人の肌身にこすり付け息を吹きかけて、罪や穢れを人形に託して流したとあります。お祓いの道具としてのこの人形は、頭は土や豆で衣裳は四角く切った色紙で作られ、男雛の上に女雛を張り付けたシンプルな形で、後に上等の紙や布で作られたものは立雛として飾られたとのことです。この報告書から、立雛は「原始のデザイン」に共通する「祈りと護り」の精神性を秘めた形態であったことに気づかされました。いつまでも私の宝物として大切にしたいと思います。

令和を迎えて

支部長 永福より子（S44家・住）



「佐保友 さほとも」は

かけがえのない友人

「令和」という新しい時代を迎え、皆様におかれましてはお元氣でお過ごしのことと思います。平素、支部活動にあたたかいご支援・ご協力を頂き、ありがとうございます。

佐保会兵庫支部では令和元年6月1日に支部総会、8月25日に地区リーダー会、11月5日に睦会が開催されました。また樫の会、ホームページ研究会、支部だよりの発行、各地区のもより会などの活動は予定通りに行われました。どの催しも参加してみると楽しく、有意義です。そして参加されている会員同士が親しくなれます。年の離れた「佐保友 さほとも（素敵なネーミング!）」と一緒に美術館に行ってきました、とHPの地区ブログに書き込みがありました。幼馴染みや仕事で知り合った友人、地域の友人など友は多いほど楽しいものです。なかでも佐保会での出会いや再会で親しくなった「佐保友」はかけがえのない友人です。

奈良女子大学創立百十周年記念式典

に参加しました

令和元年5月18日に奈良女子大学の講堂で開かれた創立百十周年記念式典・講演会に参加しました。式典は国内の大学だけでなく、バングラデシユ、中国、韓国など海外の大学の代表や国会議員、県知事、市長などの来賓のほか、教職員、学生、卒業生ら約300名が参列する盛大なものでした。

学長は式辞で最初に大学の110年の歴史を語られました。ついで「卒業生の活躍の場が主としてアカデミア分野であったのに対して、均等法以降ではビジネスの分野で活躍する卒業生が増えてきた。」と近年の学生の卒業後の進路の多様性について、「現在49大学と国際学術交流協定を締結しており、短期留学を含め受入留学生250名という目標をほぼ達成した。留学生は本学の学生数2500名の1割にあたる。」と学生の国際化について話されました。平成16年の「大学の法人化」は大学のシステムに大きい変化をもたらしました。1法人複数大学制度によって奈良女子大学は奈良教育大学と令和3年に法人統合されますが、学長は「奈良の地で未来に活躍する女性人材の輩出こそが本学の変わらない使命である。」と述べられました。

又、令和4年に女子大初の工学系学部が設置が検討されているそうです。ものづくりを通じて世の中を変える女性を育成することが目標。共学の大学工学部には女子が少ないことから「女子工学

部」はユニークな学部になると思われる。

式典に続く講演は佐保会員の河野佳織氏（新日鉄住金（株）技術開発本部フェロー）による「時代を切り拓く『モノづくり』イノベーションへの挑戦」でした。河野氏は男女機会均等法の初期世代で、大手企業の数少ない管理職です。女性の社会進出の変化などについて話された河野氏は参加した学生にとつてはうつつのロールモデルでした。

記念式典の協賛事業として、佐保会所蔵の歴史資料（文書・写真等）の一部が佐保会館で展示されており、短時間でしなが見学しました。建設途中の佐保会館の写真や様々な品は初めて見るものがほとんどでした。なかでも戦後の学制改革時に繰り広げられた大学昇格運動の一つである佐保会員による署名の冊子は、古びてはいますが当時の全佐保会員が署名されたのではないかと思うくらいの分厚さで、先輩方の熱い思いをひしと感じました。

学術情報センターの資料

大陸（旧満州・朝鮮）修学旅行

奈良女子大学の学術情報センターには興味深い資料が保存されています。一部資料は校史関係資料の活字化事業としてネットで公開されています。先日、史料の中に奈良女子高等師範学校の昭和14年の大陸（旧満州・朝鮮）修学旅行の記録を見つけました。高校の担任のI先生（佐保会員）が修学旅行で満州へ行かれたと聞いていましたので、若いこ

ろのI先生の足跡をたどってみよう。この記録を読みました。修学旅行は早くから行われていましたが、大陸修学旅行は昭和14年と15年の2回だけです。満州への修学旅行は日露戦争の翌年から陸軍省と文部省の指導のもとに始まり、多くの学校が満州修学旅行を行いました。

夏休みの18日間に及ぶ修学旅行は朝鮮の清津から北上して満州のハルビンへ、さらに新京、奉天を経て旅順まで南下。そのあと撫順から朝鮮半島へという旧満州・朝鮮大周遊旅行です。行程には名所旧跡のほか戦跡、忠霊塔を見学することが特徴で、満蒙開拓訓練所の訪問もあり、大陸修学旅行の目的が日本の海外進出と深いつながりがあったことがわかります。彼女たちは日清、日露戦争の舞台となった戦跡を訪ねることで祖国の尊厳を捨て石となつた英霊を偲び、自らも日本の発展のため尽くそうと決意を新たにします。日本の満州への進出については賛美する一方で、日本人が朝鮮人や満人に威張りすぎであると批判する冷静さも持ち合わせています。また、日本人を同化性が強いだけに、複雑で危険性も多い民族だと観察しています。あわただしい旅行の間には車窓から眺める雄大な満州の大草原に咲き乱れる秋の草花に歓声をあげ、自然と融合した現地の人々の緩やかな生活ぶりを若い女性の感性で生き生きと描いています。80年前の女学生が書いたこの記録は旧日本帝国支配下の旧満州・朝鮮の様子を知る貴重な資料となっています。

令和元年度 佐保会兵庫県支部総会

令和元年六月一日(土) 風月堂ホール

式次第

- 1 物故者に対し黙祷
- 2 開会のことば
- 3 支部長あいさつ(永福より子氏)
- 4 新入会員紹介
- 5 議長選出
- 6 議事
 - ① 平成30年度事業報告
 - ② 平成30年度収支決算報告及び監査報告
 - ③ 令和元年度役員承認および紹介
 - ④ 令和元年度事業計画(案)
 - ⑤ 令和元年度収支予算(案)
 - ⑥ その他
- 7 記念品贈呈
- 8 卒寿のお祝い(昭和25年卒業6名)
- 9 卒後55年のお祝い(昭和39年卒業13名)
- 10 報告
 - ① 一般財団法人佐保会及び
 - ② その他 奈良女子大学同窓会佐保会

卒寿のお慶び

(昭和25年卒業)
 福井 蓉子(理)
 辛島 茂子(理)
 伊藤 孝子(家)
 河本 美繪子(家)
 澤田 ちよ子(文)
 飯塚 榮子(理)

卒55年のお慶び

(昭和39年卒業)
 長田 久美子(理生)
 山下 知子(理物)
 坂戸 洋子(理物)
 佐藤 豊子(理化)
 植木 真知子(文国)
 久米 寿子(家被)
 桧尾 恵美子(家被)
 山崎 渺美(文教)
 川口 登美子(家食)
 多胡 京子(理数)
 大場 和子(文英)
 村田 好子(家食)
 鎌谷 直子(家食)

神戸元町の風月堂ホールを会場に、51名の出席を得て開催されました。

会はこの一年に逝去された方々への黙祷から始まりました。永福支部長の挨拶の後、新入会員の紹介がありました。続いて議事に移り、平成30年度の事業報告、収支決算報告および監査報告がすべて承認されました。

今年度は、卒寿のお祝い6名、卒後55年のお祝い13名の方が対象であり、卒後55年の方5名が出席され、お言葉を頂戴することが出来ました。皆さまとても充実した日々を過ごしていらつしやうに盛り上がりました。

特別企画第1部では、副学長の小川氏に、特別企画第2部では、同窓である講師の旭堂南照氏にご講演して頂き、最後に女高師校歌を斉唱し、支部総会は無事終了することが出来ました。

特別企画 第1部

大学の現状について

奈良女子大学副学長 小川英巳氏



2014年に学部の改組、2018年に大学院博士前期課程の改組が行われ、2020年後期課程の改組をもって、学部、博士前期後期との煙突型となり、学生にわかりやすい組織となる。国立大学法人制度(2004年)以降、「持続的な『競争力』を持ち、高い付加価値を生み出す国立大学」を目指し、大学の基本理念である「男女共同参画社会をリードする人材の育成」に取り組んでいる。ダイバーシティ教育研究環境の整備や、理系女性教育開発共同機構ではお茶の水女子大と共同し理数教育モデルの確立を目指している。

また、本学生の海外派遣増員(103名↓122名)や受け入れ留学生増員(167名↓240名)、バングラデシユ・ダツカ大に本学初の海外拠点を設置などグローバル化の推進を行っている。その他、「人と自然と歴史の共生のあり方を研究し日本のあるべき姿を発信」するため、既存の3つの研究センター「共生科学センター・古代学聖地学研究センター・なら学研究センター」を統合し、日本文化交流研究拠点「大和・紀伊半島

学研究所」を設置した。

入試では、「知識・技能」、「思考力・判断力・統制力」、「主体性・対応性・共同性」を持つ、幅広くものを考える学生に入学してもらうため、新しい入試制度等を取り入れている。

6年教育プログラムでは、大学院で取る単位を前倒しで取得でき、大学院の時期に留学等ができる。

「探求する力のある学生」の獲得のため、1次は書類であるが、2次ではプレゼンや実験等を取り入れ、合否を決める全学AO入試・Q入試の実施を計画

・トランスジェンダー学生の受入検討
 ・付属中高の学生12名を本学に入学してもらおう、早い時期から大学の講義を経験し深く探求してもらおう

第4期(2022年)に向けて地域の高等教育機関との連携を考えている。

～卒後55年のお祝いの皆さま～



特別企画 第2部
講談

講談師 旭堂南照氏

佐保会員の講談師旭堂南照(本名 垣内富貴)氏のお話と、講談『大名花屋』を楽しみました。



昭和58年に大学を卒業されてから講談師になられるまでのご苦労とさまざまな職業遍歴に驚かされました。また講談『大名花屋』は、巧みな話術に引き込まれ、最後は見事な大団円となり、本当に楽しいひと時を過ごすことができました。

- 哀悼 —
- 古田 尚子 様 (S19 臨数) H29.03.07 没
 - 初田 有子 様 (S31 文教) H29.12.01 没
 - 岩城 尚子 様 (S33 文国) H30.01 没
 - 柳田 和子 様 (S27 理) H30.03.28 没
 - 松谷千恵子 様 (S23 家) H30.09.01 没
 - 山本 尚美 様 (S48 文社) H30.09.14 没
 - 佐藤すなほ 様 (S19 家) H31.01.09 没
 - 山下 静香 様 (S22 家) H31.02.27 没
 - 河合 房枝 様 (S31 理化) 没日不明

2020 年度支部総会のお知らせ
令和2年6月6日(土)
《ホテルクラウンパレス神戸》JR「神戸駅」徒歩2分

平成30年度収支決算、令和元年度予算

収入の部 (円)			
科目名	平成30年度実績	令和元年度予算	
前年度繰越	3,559,187	3,559,452	
支部会費(A)	588,100	588,100	
貯金利息(B)	3,459	5,356	
本部より補助(C)	133,790	120,000	
雑収入(D)	660	0	
寄付(E)	146,000	0	
ABCDE小計	872,009	713,456	
合計	4,431,196	4,272,908	
支出の部 (円)			
科目名	平成30年度決算	令和元年度予算	
総会補助費	40,826	0	
通信費	102,602	180,000	
印刷費	14,337	40,000	
交通費	60,677	80,000	
事業費	支部だより作成費	200,000	180,000
	睦会補助	70,000	70,000
	樺の会補助	50,000	40,000
	ホーム・ページ研究会	30,000	30,000
	地区リーダー会	49,155	60,000
	もより会補助	153,817	153,817
慶弔費	48,809	60,000	
事務費	51,521	80,000	
予備費(佐保塾担当年度のみ)	0	0	
小計	871,744	973,817	
次年度繰越	3,559,452	3,299,091	
合計	4,431,196	4,272,908	

資産内訳 (平成31年3月31日現在) (円)

定期郵便預金	2,450,000
振替貯金	776,509
通常貯金	332,943
合計	3,559,452

預り金 (円)

本部会費	430,500	430,500
------	---------	---------

令和元年度 佐保会兵庫県支部役員・各委員等

役職名	氏名	卒業年学部	地区	
支部長	永福 より子	S44 家住	神戸市北区	
副支部長	谷本 彰子	S49 文英	神崎郡福崎町	
庶務	乙武 ヨシミ	S44 理生	明石市	
	末田 香里	S45 家食・S47 家修食	明石市	
	八百 美知子	S52 理生・S54 理修生	神戸市垂水区	
	高馬 洋子	S60 家食	姫路市	
	西山 衣里子	H14 生環7バ・H16 博前人	神戸市中央区	
会計	門脇 千里	S53 家食	加東市	
会計監査	柳瀬 あや子	S42 文国	神戸市東灘区	
	高階 時子	S48 文国	加東市	
「樺の会」運営委員 (〇印代表)	〇鈴木 美根子	S42 家食	神戸市西区	
	片寄 眞木子	S36 家食	尼崎市	
	乙武 ヨシミ	S44 理生	明石市	
	岩崎 雅美	S44 家被	明石市	
	末田 香里	S45 家食・S47 家修食	明石市	
ホームページ研究会運営委員 (〇印代表)	〇丸岡 玲子	S53 理数	明石市	
	鈴木 美根子	S42 家食	神戸市西区	
	乙武 ヨシミ	S44 理生	明石市	
	桂 美穂子	S46 理生	姫路市	
	富山 和子	S53 家住	たつの市	
	山本 三和子	S55 理化	たつの市	
一般社団法人佐保会	監事	山崎 古都子	S41 家住・S43 家修住	芦屋市
		片寄 眞木子	S36 家食	尼崎市
		中井 昌子	S43 家食	伊丹市
	代議員	永福 より子	S44 家住	神戸市北区
		鈴木 美根子	S42 家食	神戸市西区
		乙武 ヨシミ	S44 理生	明石市
		橋本 陽江	S48 理化・S50 理修化	明石市
		谷本 彰子	S49 文英	神崎郡福崎町
		丸岡 玲子	S53 理数	明石市
		門脇 千里	S53 家食	加東市
		富山 和子	S53 家住	たつの市

一般社団法人佐保会監事、理事、代議員の任期は平成 30.8.1~令和 2.7.31

今年度もご寄付を頂きまして有難うございました。
支部活動の一層の活性化のために使わせていただきます。
引き続きご支援をよろしく願います。

事務局 & HP 研究会からのお知らせ ～メールアドレス登録のお願い～

佐保会から各種のご案内やお知らせ、タイムリーなニュースをメールでお届けしています。現在、郵便物でお届けしている内容をメールでご案内でき、経費削減となります。是非ご登録をお願い致します。

メールアドレスの登録は、兵庫県支部ホームページからできます。

パソコン、スマートフォンからも登録できます。個人情報厳守佐保会以外では使用しません。

佐保会兵庫県支部 HP アドレス <http://saho-hyogo.girlfriend.jp/>



～地区リーダー会報告～

令和元年8月25日(日)に神戸市勤労会館で第25回地区リーダー会を開催しました。支部長挨拶の後、参加のあった各地区のリーダーから、もより会への様々な世代の参加を促すための工夫の報告や運営方法の提案などがありました。そして、樫の会、ホームページ研究会、睦会からの報告がありました。

毎回の話題が、「会費が集まらない」「若い世代は、『仕事や家庭が忙しく、佐保会どころではない!』という気持ちはよく分かる!では、これからどうすればよい?!」という事です。

しかし、子育てや仕事が落ち着いてくると、『何となく、参加してもいいかなあ』とか、『地区リーダーを断り切れなくてやってみただけ、...まあ、悪くないわね』などという意見も見られます。

「細～く、長～く、繋がってほしいね」「年齢を重ねたら、意外と良いものね」というのが、現在活動されている方々、行事に参加している方々の正直な言葉でした。

ほんの少しお時間がございましたら、ホームページを覗いてみてください。素敵なお写真や記事がたくさん載っています。

令和元年度 地区リーダー

地区(会員数)	氏名	卒年・学部学科等		地区(会員数)	氏名	卒年・学部学科等	
神戸市	東灘区(104)	蘭 由岐子 岡島 順子	S56 家生 S58 家修生 S57 理数	阪神北	宝塚市(79)	斎藤 真喜子	S58 理数
	灘区(38)	上原 美由紀 正木 みどり	S62 文国 H01 文修国 H06 理化		川西市、(川辺郡)猪 名川町(47)	中島 純子 小林 貴子	S48 家食 S50 家修食 S52 理生
	中央区、兵庫区、 長田区(54)	永田 ひろみ 佐瀬 絵理子	S57 文教 S60 理化		三田市(43)	角野 敏子 千代延 栄恵	S58 理物 S63 家生
	北区(47)	笹谷 なみえ 川崎 栄理子	S33 家住 S51 文英	東播磨	明石市(55)	藤井 稔津子 岡野 亜希子	S63 文体 H04 文英
	須磨区(50)	大橋 節子	S41 文英		加古川市、高砂市、(加古 郡)播磨町、稲美町(52)	川崎 万紀代 大西 香里	S52 理修数 H06 理数
	垂水区(62)	出井 葉子 武 佳美	S55 文教 S56 家生	北播磨	西脇市、三木市、小野市、 加西市、加東市 (多可郡)多可町(32)	村田 好子 高階 時子	S39 家食 S48 文国
	西区(58)	鈴木 美根子 細川 明子	S42 家食 S51 文教	中播磨	姫路市、(神崎郡)神 河町、市川町、福崎町 (115)	大塚 優子 井上 伊都子	S60 家生 S62 家修生 S61 文英
阪神南	尼崎市(64)	佐藤 美子 伊藤 恭代	S48 文史 S50 文修史 S54 理化 S56 理修化	西播磨	相生市、たつの市、赤穂市、宍 粟市、(揖保郡)太子町、 (赤穂郡)上郡町、(佐用 郡)佐用町(44)		
	西宮市(111)	木村 恵子 森田 幸子	S46 家被 S46 家住	但馬	豊岡市、養父市、朝来 市、(美方郡)香美町、 新温泉町(21)	山本 紀代美	H06 家生
	芦屋市(36)	池澤 直子 岡本 京子	S49 理化 S62 家生 H01 家修生	丹波	丹波篠山市、丹波市 (14)	小林 嘉子 三角 三紀子	S37 家被 S44 理数
阪神北	伊丹市(35)	林 淑美 小川 桂子	S62 家食 H01 家修食 S62 家食	淡路	洲本市、南あわじ市、淡 路市(20)	奥田 敦子	S52 文国 S54 文修国
県内合計		1181		兵庫県支部 所属会員		1245	
県外		64					

楳の会

福祉講座 口腔衛生

いつまでも美味しく食べるための健康術ーで学ぶ

平成31年2月28日(木)、於神戸市勤労会館

片寄眞木子(S36) 家庭

榎丸ふくケアセンター代表取締役田村照美氏による、前年度の「高齢者介護」に続くお話でした。

健康長寿の第一のポイントはバランスのとれた栄養摂取と口腔機能(オーラルフレイル予防)であり、歯の本数を保つて口腔ケアをすることが何より大切である。

●口腔ケアで歯石や虫歯予防

歯ブラシ、歯磨き剤を選び、正しいうがいと歯間ブラシ、フロス等を使用。舌苔もやさしく清掃

●誤嚥性肺炎を防ぐ

声帯を鍛え、舌を動かす(バ・タ・カ・ラ、あ・い・う・べ体操)

●チエックリスト

歯磨きで出血、味、口臭、湯き、こぼれる、飲み込みにくい、むせる等
●美味しく食べる健康術

丁寧な歯磨き、洗口、糖の摂取を控えてよく噛む、免疫力維持、声を出す(会話・歌)、歯科医院で定期的なチェック

日頃怠りがちな口腔ケアをしつかりやることは勿論ですが、おしゃべりや歌で口を使い、声を出すことの重要性も再認識しました。



生野銀山

バスツアー 令和元年4月25日(木)

乙武ヨシミ(S44) 理生

明治はじめに市川に沿って、飾磨港から生野銀山への鉱石の運搬や生活物資の輸送などのための「銀の馬車道」がありました。今もその痕跡が遺跡や碑や住宅にあります。

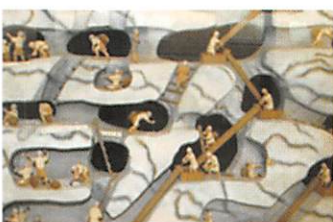
生野銀山は大同2年(807年)に発見され、室町時代に銀鉱脈の本格的な採掘がはじまりました。織田信長・豊臣秀吉の

直轄を経て、江戸時代に幕府が「銀山奉行」を、その後「生野代官」が置かれ、佐渡金山、岩見銀山とともに徳川幕府の財政を支えました。明治元年、政府直轄となり、フランス人技師ジャンフランソワ・コワニエが着任し、製錬所などを建設しました。明治22年には宮内省御料局の所管へ移され、明治29年に三菱炭田社へ払い下げられました。鉱石の品質低下などの理由から昭和48年(1973年)に閉山しました。その後観光用に整備され、公開されています。坑道の総延長は350km以上、深さは880mまで達していました。坑内にはエレベーターまでありました。鉱山資料館に坑内模写写真(HPより)が展示されています。まさに

にアリの巣のように坑道がはりめぐらされており、そこにたくさんの人々が働いていました。坑内には今は作業人形が配置されています。坑道を40分ほどかけて探索しました。

昼食を楽しんだあと、「生野書院」を見学しました。旧家の面影を残す資料館で、生野銀山の繁栄などを伝える資料や書画を保存・展示しています。

それから寺町をガイド付きで歩きました。鉱山には全国各地から大勢の坑内作業者が集まり、劣悪な作業現場で働き、多くが短命であったためいろいろな宗派の寺が建てられました。



生野駅近くの口銀谷には旧邸が昔の鉱山町の面影を残しています。吉川邸と浅田邸です。吉川家は郷宿「井筒屋」を営み、現在「生野まっつくり工房」として公開されています。資料展示や民芸品などが売られています。旧邸沿いに大正時代に鉱石輸送のため建設されたトロッコの線路跡があります。石垣のアーチが印象的でした。

ここ生野には、鉱山町独特の景観や風習・文化が受け継がれています。



楳(ゆずりは)の会 令和2(2020)年度 行事予定

開催日	内容	会場	時間	講師(敬称略)	備考
2020年					
4月23日(木)	バスツアー 豊岡・出石方面 ーコノトリと出石の文化ー	集合場所 三宮・神戸市役所前	9:00~18:00		参加費7,000円 申し込み必要
6月25日(木)	心を映す写真 ーtakeからmakeへー	神戸市勤労会館	13:00~15:00	吉田 扇	参加費 300円
7月30日(木)	食文化講座 ー危険な食後高血糖ー	神戸市勤労会館	13:00~15:00	末田 香里	参加費 300円
9月24日(木) 予定	美術鑑賞	美術館または博物館	13:00~15:00	学芸員解説 予定	入館料実費 申し込み必要
10月22日(木)	歴史散歩 西宮 ーえべっさんと宮水をたずねてー	集合場所 阪神西宮駅	10:00~15:30	埴岡 真弓	参加費3,000円 申し込み必要
11月26日(木)	住生活学講座 ー家事労働のジェンダー性ー	神戸市勤労会館	13:00~15:00	山崎 古都子	参加費 300円
2021年					
2月25日(木)	音楽鑑賞 ピアノコンサート ー歌の翼にー	ドンク岡本グルメ館 阪急岡本駅 南出口南 へ1分	11:30~15:00	田中 靖子	参加費3,500円 昼食費込み 申し込み必要
3月25日(木)	福祉講座 ー続高齢者介護の現状と これからの福祉サービスー	神戸市勤労会館	13:00~15:00	田村 照美	参加費 300円

令和2(2020)年度 運営委員

(代表) 末田香里 (078-939-4532) (委員) 片寄眞木子・岩崎雅美・乙武ヨシミ・永田ひろみ

*佐保会員以外の方の参加も歓迎します。 *事情により日時等変更することがあります。

*「申し込み必要」について:運営委員又は楳の会のEメール(yuzuriha@ml.saho-hyogo.girlfriend.jp)にご連絡下さい。電話、メール、申込書などでも受付いたしますが、その後、参加者には委員より確認の連絡を致します。もし委員よりの連絡がない場合は、他の方法で再確認をお願いいたします。

楳の会(ゆずりはのかい)とは。。。

会員相互の資質向上、互助、親睦を図るために、1年に8回以上の講座・実習・見学などを開催しています。

なお年間行事の近々の予告や終了した行事の内容は、「佐保会兵庫支部」のホームページにUPされています。ぜひご覧ください。

沢山の写真や記事を載せています。

2019（令和元）年度 第44回「睦会」報告

細川明子（S51 文教）

新たな元号「令和」元年という記念すべき年の11月5日（火）、湊川神社楠公会館を会場に、昭和31年卒から昭和53年卒までの33名が集い、第44回「睦会」を行いました。昨年より少し淋しい人数となったのは、残念でした。

予定とおり12時開会。永福支部長の挨拶の後、アトラクションとして、オカリナグループ“そよ風”による、ミニコンサート。オカリナ特有の温かく、素朴な音色の演奏を楽しみました。演奏された曲は、「四季の歌」「秋メドレー（のぎく、赤とんぼ、庭の千草）」などなじみのある曲。「上を向いて歩こう」は、オカリナ演奏をバックに全員で歌いました。アンコールの「ふるさと」でも、参加者から自然に歌声が上がり、余韻のあるコンサートとなりました。

その後、昭和36年卒甚目律子様乾杯を合図にお食事タイム。和やかに食事と歓談が進みました。食事が一段落したところで、皆様からの近況報告。健康、介護、趣味、夫婦生活などそれぞれの話に、思わず笑みがこぼれたり、相槌を打ったり、興味深い話に時間を忘れてしまいました。それでも時間通りに終了となるのはさすが・・・といったところ。穏やかな秋日和のひと時を楽しみ、美味しく過ごすことができ感謝いたします。

睦会（むつみかい）とは。。

60歳以上の方の、年に一度の親睦会です。

本年は昭和56年卒以前の方が対象となります。

今回企画しお世話頂いたのは、昭和51年卒の方々です。



ホームページ研究会

丸岡玲子（S53 理数）

私達の活動は、まだ「同窓会活動にホームページ（HP）を活用する」という事が目新しかった2006年頃から、先進的な先輩諸氏のご努力によって引き継がれてきています。その間、パソコンやスマートフォン、メールやLINEといったコミュニケーションツールの普及が進み、私達の生活にITは欠かせないものとなりました。ホームページ研究会では、佐保会会員の交流と親睦、様々な活動をIT面でお手伝いすることを趣意に、ITサロンの運営及び、事務局からのお知らせ、樺の会、睦会、各地区でのもより会の様子などを支部HPに掲載しています。他支部や奈良女子大学HPへのリンクもありますので、是非一度ご覧頂きたい思います。

又、会員とその子女の活動（演奏会・個展等）を掲載・周知する取り組みも行っていますので、皆様からの情報提供をお待ちしています。（掲載基準など詳細はHPをご確認下さい。）



ご存知の通り、支部運営の効率化とコストダウン、利便性向上の試みとして皆様にメールアドレスの登録をお願いし、現在、約160名に登録を頂いています。（昨年度から40名増）事務局発行のメールマガジンによる様々なお知らせ・連絡に活用させて頂くと共に、各地区での「もより会のメール案内・出欠連絡」等にも登録メールアドレスを活用して頂く事が可能ですので、詳細は事務局までご相談下さい。

（ご提供頂いたメールアドレスの取り扱いは厳重に行っています。）

中央区・兵庫区・長田区 及び灘区 合同もより会開催の報告

令和元年11月10日、三宮の老舗日本料理店「松廼家」にて、中央区・兵庫区・長田区及び灘区の合同もより会を開催しました。JR・阪急、阪神電車・地下鉄の三ノ宮駅から徒歩直結している、大変便利な場所での開催となりました。

参加者は4名と少なかったのですが。。

初対面同士の方もいらっしゃいましたが、話題に尽きることもなく、大変楽しく大いに盛り上がりました。日常の出来事やお仕事の事、今現在興味を持っている事、今更ながら将来の夢!!（笑）などを語り合い、美味しい食事と談笑で心も身体も満たされ、有意義なひと時を過ごすことができました。

もより会とは。。

地区ごとに年に一度開催する親睦会です。様々な年代の同窓生と交流できる会です。



研究ノート



着心地を科学する

神戸大学大学院・教授 井上真理

1. はじめに

奈良女子大学家政学部被服学科を卒業した私は、現在、「衣環境」を専門とする大学教員として研究・教育の仕事をしている。被服学の分野は幅広く、学科内の講座も被服材料学、管理学、生理学、文化学、意匠学に分かれている。専門科目を学ぶ中で特に心惹かれたのは、被服材料学を教えたくださった丹羽雅子先生の講義だった。高分子化学も面白いと思ったが、それ以上にヒトの感覚と材料特性を扱ったこの分野に興味をひかれて、ゼミ配属を決めた。

研究室で勉強していく中で、繊維・糸・布のもつ特徴が衣服の材料として最適であることを再認識し、そのことをみんなに伝えたいと思うようになった。それは歴史によっても伝えられると思うが、材料実験やヒトを対象にした実験を行うことで、より直接的にもつくり役に立ち、ヒトが触れて用いる繊維製品的设计に応用できるという喜びを感じた。このような気持ちを抱かせてくださった丹羽先生には心から感謝している。

丹羽先生の研究に対する態度はいつも厳しく、その背中を見ながら弟子たちは育った。何人もの弟子を育てて全国に飛び立たせた先生

を心から尊敬している。ここでは、その丹羽先生に教えていただいた衣服の「着心地を科学する」世界を楽しんでいきたい。

なお、この報告は2019年2月に発行された佐保会大阪支部だよりに掲載された内容を一部改変したものです。

2. 衣服の機能

私たちはモノを見たり触ったりすることで、形や色、動き、硬さ、温度、表面形状などを判断する。目で見てその構造や組織、色、柄を認識し、手で触って柔らかさやなめらかさを把握し、衣服を着用して暑さ、寒さを感じ、調整する。図1に示すように、五感を活用して、心理的にも身体的にも快適で安全な衣服を選択しているのである。

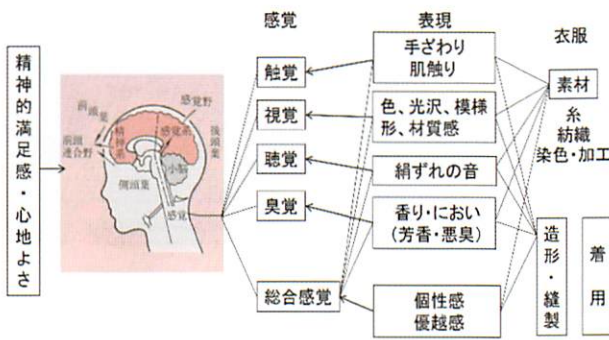


図1 着心地のよさを感じるメカニズム
 出典：「生活情報シリーズ④ 繊維の知識」(国際出版研究所)より抜粋

衣服の目的は多岐にわたる。外部環境に応じた体温調節補助、物理的・化学的的刺激などからの身体防護、皮膚表面の清浄維持

運動性の保証・増進といった保健衛生上の機能。習慣や慣習などの社会規範に従う着用、職種・地位・性別などを表す標識となる着用、流行や個性を意識した装身などの文化的・社会的な整容装飾上の機能。両方の機能が満足されることで、身体的にも精神的にも保護され、快適で健康な衣生活を送ることができるのである。

3. 布が生み出す心地よさ

衣服を着る時、着ている時、布は複雑な変形を生じる。たてよこ方向だけでなく、様々な方向に引つ張られ、曲げられ、押しつけられる。また触ることによって摩擦が生じる。このような変形に対して生じる布の荷重圧力が、肌触りのよさや、着用時の動きやすさと直接関わっている。

図2の左図は、ヒトの皮膚(手の甲)を引つ張つて、元に戻した時の伸びひずみ(%)と荷重の関係を示している。このグラフの特徴は、その関係が線形ではなく、非線形なことである。すなわち小さな力で大きく変形する性質を示している。右図に示すゴムやシート地は線形であり、同じだけ伸ばすのに大きな力が必要とするが、布(織物)は皮膚と同様に非線形であり、布に伸長変形を加えても皮膚と同様に小さな力が必要とするだけである。この非線形特性は、布のやわらかさ、しなやかさといった感覚的性能を生み出す要因の一つとなっている。

布は、構成する糸と糸との間、糸を構成する繊維と繊維の間、繊維塊における繊維と繊維の間に隙間があり、空気をたくさん抱え持っている。すなわち布は繊維と空気との複合材料であり、圧縮してもやわらかく、軽く、断熱性をもつため、衣服として着用した際には体温調節を補助し、人体を取り巻く環境にかかわらず快適な衣服内の環

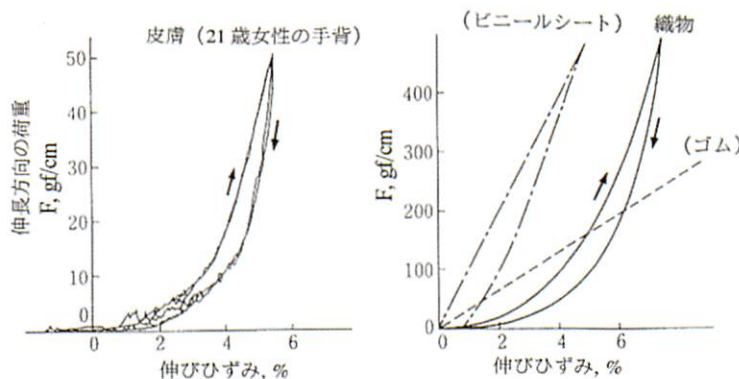


図2 皮膚と布、その他の材料の伸長特性
 出典：丹羽雅子編著、アパレル科学、朝倉書店

境をつくることができる。人間と衣服との適合性が科学的に解明されたのは、ここ100年以内のことであるが、人類はこのことを長い歴史の中で、感覚的に感じ取っていたと考えられる。人間が衣服の材料として採用した繊維とは、人間の生理的機能だけでなく人間の感性とも適合し、快適感を与えるものであったといえる。

保健衛生上の物理的な意味での快適な衣服の着心地は、温熱的な快適性、動きやすさ、肌触りの良さの三要素を評価することと得られると考えられている。次にこの三要素を物理特性との関係について捉えてみよう。

4. 着心地の三要素

① 衣服内気候と温熱特性

温熱的に快適な衣服内気候は温度と湿度のバランスによって決定される。目標値となる衣服内気候が明らかになっていることから、それを旨として、衣服の形態や布の熱・水分・空気の移動特性を利用して衣服設計をすることが出来る。

吸湿性の高い綿・麻や毛・絹、またセルロース繊維であるレーヨン・ポリノジック等が、不感蒸泄や汗を取り込むことができることはよく知られている。一方、吸湿性の低い合成繊維は水蒸気の汗を取り込むことはできないが、液体の汗を吸い込んで布に濡れ広がらせることは可能である。吸湿性が低いために繊維そのものが水分子を取り込まないため、早く乾くという側面も持つ。これが吸汗速乾の所以である。吸湿性が高い繊維は水蒸気を取り入れる際に発熱するために暖かくなるという性質を持つ。吸湿発熱素材として知られている。また通気性は繊維の性質ではなく、糸や布の構造がかかわってくる。これらの繊維や糸、布の特徴をよく理解して製品を選ぶことで、夏は涼しく、冬は暖かく過ごすことができる。

② 動きやすさに関わる衣服圧

衣服を着るということは、皮膚の上に布がのることになるので、人体の動きに伴う皮膚の伸び縮みを妨げることになる。皮膚に密着している衣服、例えば肌着やタイツなどは、皮膚の伸びに対して同じくらい布が伸びることが求められる。しかし、一般の衣服には皮膚との間に隙間を持たせるゆとり量があり、肌面をすべりやすくしてあれば、衣服自体が伸び縮みしなくても皮膚の動きに追従することができる。

衣服の開口部やゆとりが十分であれば、人体の動きは衣服のすべりや伸びに関与することなくスムーズに行われる。ゆとりが少ない場合は、衣服がすべりやすい方が動きやすい。裏地のように表面摩擦係数が小さく、表面がなめらかな布地は人体の動きをスムーズにし、布の伸びを最小限にとどめて、型くずれを防ぐことにもなる。衣服のゆとりやすべりで皮膚の伸びが補えなくなつたとき、布が伸ばされる。人体の曲面を布で覆つたときに、布が引つ張られたり曲げられたりすることによって生じる内圧は、人体への圧迫感となることから、動きやすさに関わる着心地と直接関わってくることになる。逆にフィット性を高めて筋肉の動きを補佐するのに必要な衣服圧もある。

衣服の用途によって、動きやすさにかかわる衣服圧の必要性、不必要性が変わってくるので、それに応じた衣服の設計が必要になってくる。織物に比べて編物(ニット)はループ状の構造から伸縮性が大きい。これまで公の場においては型崩れしにくい織物が一般的に用いられてきたが、伸縮性が大きいことによる着やすさから、ニットにもニットが使われるようになってきた。着心地の良さが文化的な常識をも変えていく一つの例ではないかと考えている。

③ 風合いの客観評価

布の風合いとは、見たり触ったりした時の布の感覚で、やわらかさ、なめらかさ、ふっくら感、しなやかさ、はり感、シヤリ感など様々な言葉が用いられる。丹羽先生は京都大学の川端季雄先生との共同による「布の風合いの客観評価に関する研究」で世界的に有名であった。布の風合いというと、情緒的に認識され、感

性という包括的な表現で認識される。しかし、布の風合いは、これまでの研究によって人間の機能と関わりを持つ基本的な材料性能として認識できるようになっている。

川端先生は極めて低荷重域での布の基本力学特性の精密計測が可能なる KES (Kawabata Evaluation System) の設計、開発を行った。KES で得られた力学特性値(引張特性、曲げ特性、せん断特性、圧縮特性および表面摩擦特性、表面粗さ)と熟練者による風合い主観評価値とを重回帰分析することにより、布の風合い客観評価式が開発された。

最初に開発されたスーツ地をはじめ、ドレスシャツ地、婦人用薄手ドレス地、編布、衣料用不織布について、KES の測定条件を踏まえた客観評価式が開発されている。その後、パジャマやふとん地、紙おむつ用不織布、トイレットペーパー、毛布の評価式が開発された。さらに現在では、テキスタイル製品のみにとどまらず、家具や自動車の内装に用いられるプラスチック、皮革、紙、木材、金属等、人間が直接接する材料の触り心地への応用がなされるようになっている。

5. おわりに

衣服は生活の中で人間と最も密接に関係するアイテムであり、持ち運びできる環境、または第二の皮膚といわれる存在である。人類は平面状の毛皮や木の皮などを身にまとうことから始まって、麻、木綿、羊毛、絹などの天然繊維から糸を作り、さらに糸から織つたり編んだりすることで布を作つて衣服材料とした。

現在、スマートテキスタイル(賢い繊維製品)という分野の研究が盛んになってきており、センサーを備えた衣服が販売

されるようになってきている。導電性の繊維が使用されている一方で人体に身につけるものである為、絶縁することも重要で、何らかの被覆をすることになると、厚みが増して硬い材料になったり、通気性が小さくなつたりして快適性という意味ではあまりよろしくないのが現状である。

センサーを身につけて健康管理をするなどの用途であれば、高齢者や病気を患った方々が着用するケースが多いであろう。衣服内気候や動きやすさ、肌触りの良さに配慮して、心地よく着られるようなテキスタイルが望まれる。

布が貴重な財産であった時代から、安価で一シーズンで使い捨てられていく時代へと移行し、布の価値が下がっているのが今の時代である。パソコンやスマートフォンなどの普及で家に居ながらネットでも買えるようになり、衣服も例外ではなくなっている。着心地を数値化できるようにになると、快適感を表示することで衣服を選べるようになり、今以上にネット販売が増えるかもしれない。購買内容がチェックされて、その人の好みに合わせて衣服のコーディネート提案がなされ、お試して物が送られてくる時代でもある。

ライフスタイルが大きく変化している今日、衣服も変化していく可能性が大きい。しかし、科学が進歩していくなかでも人類が衣服の材料に選んだ布の存在はなかならない。人の感覚に合致し、心地よさをもたらす布の良さをいつまでも使い続ける感性をなくしてはならない。

丹羽雅子先生は、今年一月二十五日に他界されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

随筆

生徒たちに伝えたい言葉

(S 62 文国 H 01 文修国 上原美由紀)

神戸の私立の女子校で国語科の教員として働くようになって、もう三十一年目です。勤めた最初の年も、同窓会誌に寄稿する機会をいただきました。新米教師が考えたことをつらつら述べたように記憶しています。今年また、私の文章を載せてくださるというお話をいただきました。せっかくですので、私自身のためにもちよつと立ち止まって、今の私が生徒たちに伝えたい言葉は何か、改めて考えてみました。

①「**すくすくと育て玉黄金、成長て為になれ島ぬ宝**」
人々の、各々の違いを認めたくて良い人間関係を築く力は、以前より小さくなったと感じています。様々な違いを知るための試みを、私の学校でも折に触れ行っていますが、今年は、LGBTに関する研修、講演会も実施されました。また、違いを認めるためには、ひとりひとりが自信、自己肯定感を持つ必要があります。それらをどう培うか、日々模索しています。愛着障害やその克服法についてもより深く学ぶ必要を感じています。ですから、「縁があつてたびたび訪れた「奄美大島宇検村田検」でこの言葉に巡り合ったときには、目を見張り、心から嬉しく思いました。

田検では、生まれた次の年の端午の節句の日に、赤ちゃんたち全員に「よろこびのことば」という表彰状を授与するのだそうです。そこに書かれているのが、「すくすくと育て玉黄金、成長て為になれ島ぬ宝。(ス

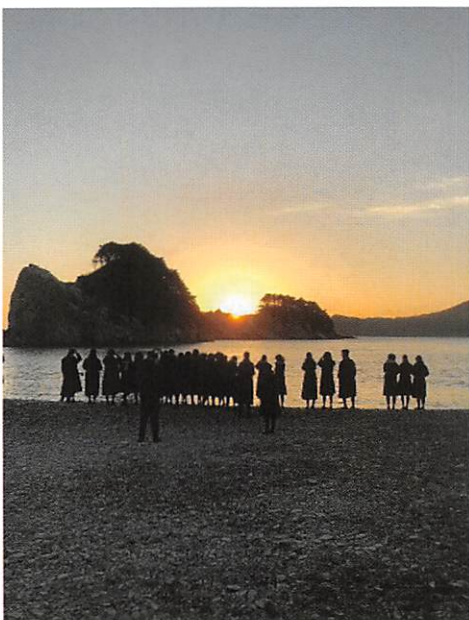
クスクトスタダタマクガネ、フデタメニナレシマヌタカラ)」という言葉。「生まれてきたあなたはそのまま宝物。みんながそう思っている。すくすく育ち成長して、みんな、それぞれのやり方で、人のためになつてください。」(ここには、生まれてきたすべての人たちへの願いが集約されていると思います。今、私がすべての生徒たち、子どもたちに伝えたい言葉です。そして、その願いを叶えるために、学校で行うべき具体的なことを見つけ、実行するのが、教職に就いた者の仕事なのだと思います。

②「**頂上のない山を登り続けよう**」

十一年前に、卒業する生徒たちに贈ったこの言葉を、今の生徒たちにもやはり贈りたいと思います。以下、そのときに添えた文章を抜粋します。

あなた方の大きな変化の時に立ち会えたことに、心から感謝しています。あなた方は、自分以外の人たち、自分を取り巻く様々な物事に対して、想像力を働かせることが、少しずつできるようになっていきました。自分がたくさんの人たちに支えられていることに気づくようになっていきました。そのようなときに、いつも私は、「ああ、この仕事をしていて良かったなあ。」と思いました。「人間って、スゴイ力を持っているなあ。」と、思いました。あなた方はこんなふうに、私に人間を信じさせてくれました。ありがとう。でも、私もあなた方もまだまだ未熟です。きつと一生未熟なままでしょう。だから、「頂上のない山を登り続けよう」なのです。「頂上のない山を登り続ける」これは、顧問をしているコーラス部のモットーの一つです。私の倍以上の年月、コーラス部の指導に尽力

してこられた先生の造語ですが、コーラス部員も私も、この考えに深く共鳴しています。…人間は弱い存在です。弱いことを自覚しているから、強くなりたくないと向上心を持つし、努力します。そんな姿こそが美しいと思います。そして、人生は日常の積み重ねです。毎日少しずつ、山を登っていきましょう。この山に頂上はありません。疲れたら少し休んだっていいし、もしかしたらちよつと滑って後退することだってあるでしょう。それでもかまいません。とにかく少しずつ、ずつと登っていきましょう。私は例えば歌のレッスンを受けさせていきながら、今、「頂上のない山」を登っているなあと、よく思います。山を少し登ると、前いた場所のことがホントによくわかるってことを、実感しています。少し登れて、前より見晴らしがよくなる瞬間、心が澄む瞬間が、大好きです。違う場所においても、みんな、一生、この山を登り続けようね。いつも、ずつと、応援しています。



2018秋 高2修学旅行 浄土ヶ浜の日の出

私の楽しみ



(S) 31 理数 遠井方子

もうすっかり齢を重ねて 80 代も半ばを過ぎてしまいました。年代も令和と変わり、昭和一桁は貴重種になってしまいました。でも、老いをかこちながらも毎月数回の観察歩きが楽しみの一つです。かつては「山歩きをしながら観察する」であったものが、今や「観察しながら歩く」に変わりました。山もアップダウンの少ない里山や山麓歩きとなり、でも大勢のお仲間と自然に触れ、植物等を教えあい、お喋りをするのは、今も元氣そうにしている源でしょうか。メインの集まりは「六甲山の自然に親しむ会」。2000年に立ち上げて六甲山周辺を觀てまわることを今も続けています。「六甲山を知る」ことを通して自然環境も身近な問題となり、奥深く興味深いものです。自然大好き派というか、散らばっている家族を、時には訪れてその地の自然やそこに根ざした文化に触れるのも楽しみの一つですね。

化粧品とスポーツと私

(H) 6 理化 正木みどり

40 歳になったころ、仕事のおかげで素敵な美容液に出会いました。今はもう、この美容液をつけない日なんて考えられません。

それまでの私は、化粧品にお金をかけませんでした。しかし 35 歳を過ぎたあたりからみるみる老け始め、流石に危機感を感じましたが、高価な化粧品になかなか手が出せませんでした。

そんな折、新しい仕事に就き、その美容液と出会いました。小さな会社のため、試作、品質試験、効果テストなどあらゆることを自分で試すことが出来ました。するとだんだんと肌の調子が良くなると同時に、気分が良くなってきました。化粧品がこんなにも自分を明るくしてくれるとは！女性が化粧品を求める理由がそこで初めて理解出来ました。

その時期と並行し、「なぜ世間はフルマラソンが流行ってるのか」ふと疑問に思いました。そこで神戸マラソンに申し込みました。運動は好きでしたが、長距離は大の苦手。高校の体力測定で 1 km 走ったのが最後。42 km も走る人々の気が知れませんでした。ところがある日、やってみようかと決意しました。7 か月のトレーニングプランをインターネットで検索し、真面目に取り組みました。最初はウォーキングから始めました。コツコツと。徐々に変化が見られました。身体が変わりました。思考が変わりました。自分の記憶するかぎり、感じた事のなかったポジティブな思考になりました。もともとネガティブに考えてしまう欠点がありましたので、大袈裟に聞こえるかもしれませんが、それくらい変わりました。そしてなんとか完走できました。次に六甲全山縦走にも参加しました。どれもとても良い経験でした。現在は、摩耶山や六甲山にハイキングへ行ったりと、体を動かすようにしています。

人生 100 年時代、化粧品で肌と気持ちを整え、スポーツで心と身体を鍛え、女性として楽しく生きていこうと思います。

新刊発行

「神戸モダンの女」



出版年月日…
2019年8月1日
著者… 大西明子
発行所…
(株)編集工房ノア
定価… 2,200円

2018年度の文芸社主催・毎日新聞社後援の「人生十色大賞」特別賞を受賞した大西明子(本名石塚明子 S 44 文国卒)さんの長編小説。

主人公の多津子は大正の初めに神戸で生まれ育ったハイカラ好きの父の影響で子供のころからパンと紅茶の朝食をとり、小学校へは当時珍しいセーラー服で通った。女学校は裕福な家庭の子女が通うミッションスクールへ進み、そこで出会った女性教師の自立した生き方に感銘を受ける。女学校での英語や料理、洋裁、ダンスなどの西洋風の良妻教育は多津子のその後の生活を助けてくれることになる。小磯良平氏と思われるフランス帰りの美術教師も登場する。

その後事務員やダンサーとなるが、やがて結婚。時代は日中戦争を迎えていた。家庭の事情や夫の会社の倒産などで何度も逆境に陥るが、多津子は持ち前の行動力とセンスで時代を乗り越えていく。

大正から昭和にかけてのモダンな港町神戸の様子や風俗、特に服飾の丁寧な描写が素晴らしい。多津子のモデルは著者のお義母さんだそう。次回作を期待しています。

～ 事務局 だより ～

- 平成 30 年度事業** ☆事務局会議：全 7 回
 平 30. 5. 27(日) 支部総会 (ホテルクラウンパレス神戸)
 8. 19(日) 第 24 回地区リーダー会 (神戸市勤労会館)
 10. 31(水) 第 43 回睦会 (楠公会館) (昭和 50 年卒業者担当)
 平 31. 2. 1(日) 「支部だより」第 42 号発行 (神戸市東灘区担当)
 2. 16(土) 「支部だより」第 42 号、「佐保会報」「Today」
 全会員に発送(1206 通) (明石生涯学習センター)
 2. 16(土) 「支部だより」引き継ぎ会 (東灘区→灘区)
 (明石生涯学習センター)
 3. 30(土) 会計監査 (神戸生活創造センター)



- 令和元年度事業** ☆事務局会議：全 7 回程度の開催
 令 1. 6. 1(土) 支部総会 (神戸元町 風月堂ホール)
 8. 25(日) 第 25 回地区リーダー会 (神戸市勤労会館)
 11. 5(火) 第 44 回睦会 (楠公会館) (昭和 51 年卒業者担当)
 令 2. 2. 1(水) 「支部だより」第 43 号発行 (神戸市灘区担当)
 2. 29(土) 「佐保会報」「Today」「支部だより」等発送
 2. 29(土) 「支部だより」編集担当引き継ぎ会
 (神戸市東灘区→神戸市中央・兵庫・長田区)
 3. 28(土) 会計監査 (神戸生活創造センター)

(参考) 令和 2 年度について

- (1) 支部総会 6 月 6 日(土) (ホテルクラウンパレス神戸)にて開催
- (2) 「支部だより」第 44 号 編集は神戸市中央・兵庫・長田区の担当
- (3) 「第 45 回睦会」は昭和 52 年卒業者の担当



令和元年度 新入会員 (31名)

卒業学部	氏名	地区	卒業学部	氏名	地区	卒業学部	氏名	地区
文歴史	長谷 翠	川辺郡	理科物	小西 妃菜衣	尼崎市	理化環	田中美帆	伊丹市
文地環	朝倉 京子	三田市	理科物	花岡 真帆	尼崎市	理化環	中村 満貴	東灘区
文マテ ¹⁷	金倉 菜美	中央区	理科連	中筋 若菜	三田市	生環食	井沼 瞳	県外
文マテ ¹⁷	村上 真悠	加古川市	理化化	景山 朝子	兵庫区	生環心健	井下 真美子	県外
文欧米	大森 瑞月	長田区	理化化	木守 佳那	西宮市	生環情衣	西川 美穂	県外
文欧米	菅井 優弥	丹波篠山市	理化化	酒井 里穂子	丹波篠山市	生環住	田中 優里	豊岡市
文欧米	藤代 沙耶	北区	理化生	天津 友貴	西宮市	生環住	森本 幸希	三田市
文人心	瀬川 依澄	川西市	理化生	木村 早希	芦屋市	生環住	高橋 知恵	明石市
文人心	宮内 麻梨子	多可郡	理化生	時田 友紀	西宮市	生環住	船曳 由莉	姫路市
理科数	三浦 璃子	北区	理化生	前田 沙希	宝塚市	生環文	路次 布由子	西宮市
理科物	青山 美嶺	須磨区						

灘区摩耶山上にある寺院、切利天上寺 (とうりてんじょうじ)。高野山真言宗大本山。通称「天上寺」。摩耶夫人 (釈迦生母) を本尊とする日本唯一の寺です。646 年 (大化 2 年) に孝徳天皇の勅願により、インドの高僧法道仙人が開創したと伝わります。後に空海 (弘法大師) が渡唐した際に梁の武帝自作の摩耶夫人尊像を持ち帰り、奉安したことから、この山を「摩耶山」と呼ぶようになったそうです。摩耶夫人尊像は、女性のあらゆる難病や苦しみを救ってくださる女尊であるとして、安産と子授け・子育ての守護仏として知られています。摩耶夫人尊像はとても美しく優しく、手を合わせると包み込まれていくようで心が落ち着きます。六庭の枯山水庭園は、いつも美しく整えられています。晴れた日には、天空の大舞台から淡路島、明石海峡大橋を眺めることができます。参道を上ったところには「若ガエル様」が待ち構えていらっしゃいます。機会がありましたら、ぜひ訪れてみてください。

<編集後記> (担当:灘区、編集者代表:正木)
 「支部だより 43 号」を編集するにあたり、原稿を快く引き受けられました会員の皆さま、及び支部役員の方々に心より御礼申し上げます。今回、支部だよりの編集にあたっては HP 研究会のアドバイスを受けて PC を使った完全原稿を作成しました。文字や写真、図等のレイアウトもすべて自分たちで行い、校正をした完全原稿の印刷のみを印刷所へ依頼しました。初めての試みでうまく出来上がったかどうかと心配です。皆様のご感想をお聞かせください。

